

ふじおか義英県議会報告

4年ぶりに一般質問を行いました

子どもの医療費助成制度について、中学卒業まで拡充する事、500円の自己負担金をなくすことを求めました。阿部知事は税源として「10億円程度必要」とし、子育て政策は（他にも）沢山あるため、幅広く検討したいと消極的でした。

小中学校の学校徴収金以外の制服・習字セット・辞書・水着・給食着・上履き……などの“いわゆる隠れ教育費”について、現状を調査すべきと求めましたが、教育長は「家庭事情に踏み込むことになるので難しい」との答弁。実際に困っている子育て世代の切実な声を紹介し、負担軽減のための取組を求

めました。

米軍機の低空飛行への対応について、県は2019年に政府に対し「市街地や観光地上空を避けること、日米地位協定を見直し航空法などを守ること」などを要請してきましたが、未だに改善が見られない中、知事自ら日米軍に対して直接要請すべきだと決断を迫りました。知事は、「近年何か非常に不安をかきたてられるような飛行が頻発しているような状況では必ずしもない」と答弁。佐久バルーンフェスティバルでも3機の米軍機の低空飛行が目撃されている中、あまりにも危機感のない答弁でした。



危機管理建設委員会

建設委員会では

7月1日に小川村で発生した土尻川の氾濫、住宅などの氾濫について、県が発注した工事が原因と考えられるのと発表に対し、工事の時期及び工法は適切だったのか質問。建設部から出水期に工事期間が重なったことや、現在工事の実施状況について調査を進め原

因究明を行なっているとの説明がありました。様々な角度から調査を行い、再発防止の徹底を求めました。

リニア中央新幹線の工事で発生する盛土の量は、熱海で発生した盛り土流出事故時に問題となった盛土の約130倍もあることから、盛土処理の理解が得られない限り、工事推進は支持されないことを厳しく指摘しました。



危機管理委員会では

佐久バルーンフェスティバル開催中に撮影された米軍機による低空飛行の動画などのデータを事前に理事者と各委員に提供し、それに基づいて質問しました。



6月定例会の最終日の7月7日、米軍機らしい軍用機の目撃情報を2名の方から寄せていただきました。早速、写真も添付しながら県危機管理部へ報告しました。

裁判所佐久支部の充実を求める協議会の総会に出席

家庭裁判所調査官の常駐、少年事件の取り扱い、及びエレベーター設置など庁舎の建て替え等、裁判所佐久支部の充実を求め平成30年から活動に取り組んでいる協議会の総会に出席しました。



佐久市振興公社ビル2階 共同会議室にて（7月6日）

佐久新校創設推進協議会 設立総会に出席



佐久市役所にて（6月20日）

佐久市の野沢北高と野沢南高を統合し新校が作られる中で、県や県教委に校地拡幅など3項目を求める要望書提出が確認されました。会長には柳田清二・佐久市長が就任。私も顧問に就きました。

県民要求実現へ全力でがんばります

日本共産党県議団は6人になり、交渉会派で代表質問もできるようになりました。



- 山口典久議員 各所属委員会が左記のように決まりました（写真順）
- 総務企画警察副委員長
- 毛利栄子議員 産業観光企業委員
- 藤岡義英議員 危機管理建設委員
- 決算特別委員
- 和田明子議員 農政林務委員
- 少子化・人口減少対策調査特別委員
- 高村京子議員 県民文化健康福祉委員
- 広報委員
- 両角友成議員 環境文教委員長
- 議会運営委員

日本共産党県議会報告

No 1 2023年8月 【2023年6月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

